

## 隠退記念旅行記（9） 延岡の教会訪問

6月8日の日曜日、友人の車に乗せていただいて、教会に出かけました。



延岡三ツ瀬教会

創立1936年の延岡三ツ瀬教会は、初代牧師の時代に会堂が建てられました。長老派の伝統を汲み、小さいながらも堅牢で頑丈な建物で、装飾的な部分は全くなく、天井が高く、窓が大きくて、伸び伸びとした空間です。旭化成本社の近くにありますが、旧歓楽街の側でもありました。商店、医院のある住宅地で、今は交番も隣に立っています。

私たちが離任してから6人目になる藤原牧師が着任されたばかりでした。教会員が喜びながら、新しく歩みはじめた感じが漲っていました。少人数ですから、それだけ、教会員一人一人が奉仕を分担して、ときばきと動いておられました。懐かしい皆さまにお会いできて、胸がいっぱいになりました。講壇、椅子、扉など昔と変わらず、手で触れて懐かしみました。教会の方々はやはり年齢を重ねておられましたが、若かった方々が今は責任ある立場になって、教会を支えておられる姿を見て、感無量というものでした。その日はちょうどペンテコステでした。藤原牧師は「言葉は両刃の剣になり得るものだが、神の言葉を私たちに与えられた賜物として受けとめたい」と説教されました。

礼拝後に、ペンテコステのお祝いと私たちの歓迎を兼ねて昼食会を開いてくださいました。美味しい手作りのお料理を感謝していただきました。天に帰られた先輩方の信仰を思い出しました。皆様のスピーチを聞きながら、ここの教会で働いた日々を、心から喜びました。



延岡城山教会

午後から藤原牧師は延岡城山教会の礼拝説教に行かれました。城山教会は延岡市内で最も古く、120年余の伝統があります。城山の真下にあり、市役所、裁判所などの官庁街の中にあります。私どもの長男が3歳からお世話になった付属幼稚園もあります。いつも延岡市内のキリスト教会のリーダーとして活躍してきた教会です。けれども、旭化成の縮小と共に、教会も急速に教勢が下がり、また、牧師の病気による辞任もあり、現在は延岡で最も礼拝出席者数が少なくなっています。私共も午後からの礼拝、聖餐式に参加いたしました。藤原牧師が2回分の説教を用意されているのは、大変なことだと思いました。また、付属幼稚園の園長代理として、使徒教会の幼稚園々長が兼務しておられます。新しい道が与えられますように祈りました。



延岡使徒教会

延岡使徒教会の幼稚園々長は隠退された市来牧師の夫人で、杵築教会出身です。夫の後輩でいってみれば可愛い妹のような夫人です。城山教会の礼拝後、使徒教会へ向かいました。教会は市の郊外の干潟の近くにあって、市来牧師の父上の開拓伝道によって始められた、地元に着した教会です。お二人の献身的な、優しい人柄でチーム・ワークを組み、幼稚園や乳児園など、地元のニーズにも応えてきました。広い敷地に、新しい美しい会堂が建っています。ホール、納骨堂など設備も充実していて、地の利を生かした野菜畑や花畑もありました。80歳になられた市来牧師は隠退されていますが、教会の活動規模が大きいいため、後任牧師を助けて、いまだに働いておられるので、お二人の健康を祈らずにはいられませんでした。